

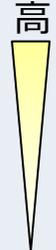
前回会合におけるご質問への  
回答について

平成29年 2月 15日  
北海道電力株式会社

# 1. 経営効率化（支出抑制、繰り延べの判断基準）

## 【判断基準：ランク区分設定】

- 従来から、修繕工事等の予算策定段階において、補修・取替対象を予め厳選し、それらへの工事の優先度について、リスクが発生した場合の影響度を評価した上で、リスクが発生する可能性に応じて、S・A・Bのランクを設定しています。
- 繰り延べや実施取止めの計画策定については、このランク設定を踏まえ、従来はA・Bランクの工事を対象としていましたが、監視強化や、供給信頼度の維持を前提に予防保全から事後保全への拡大を図ることなどにより、H25年度以降、SⅡランクの一部までを対象とすることで、修繕工事等の低減を図りました。

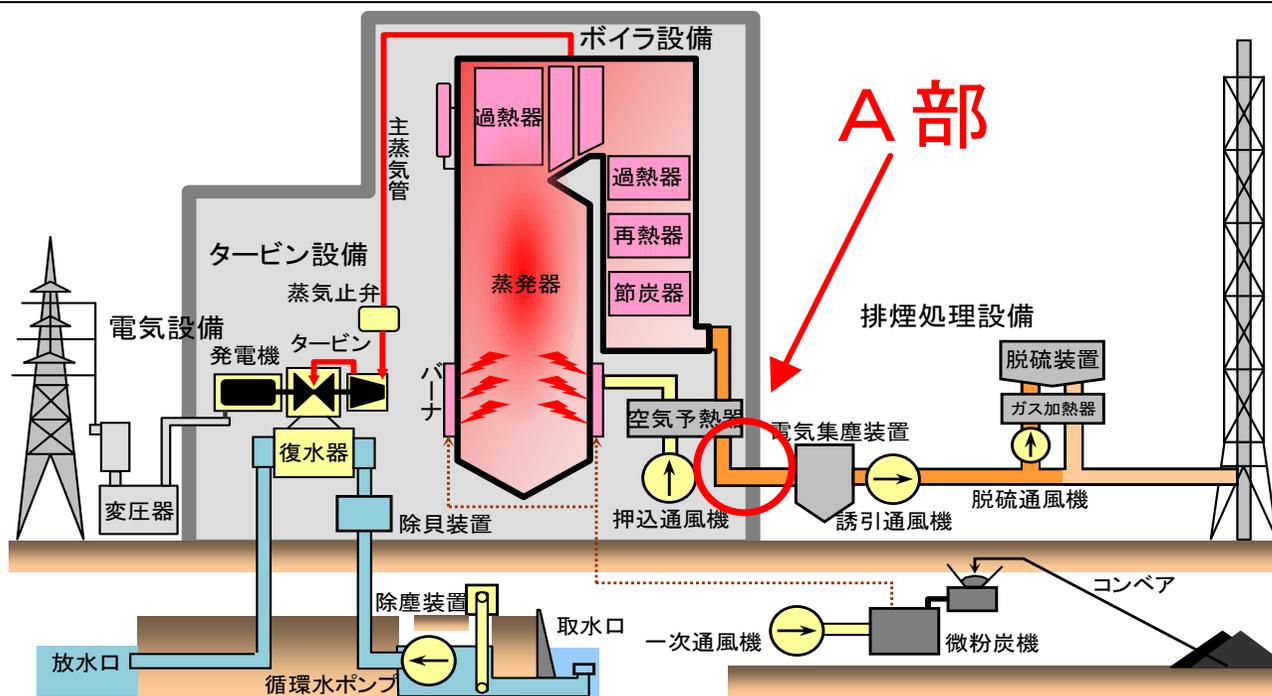
ランク	内 容	リスクの影響度	リスクが発生する可能性
S	I	大	—
	Ⅱ		
A	・設備の機能不全等のリスクが発生する可能性が高いため、当年度に実施することが望ましいものの、設備の状況等を踏まえ、1年程度であれば繰り延べ可能な工事	上記以外	
B	・1～3年以内に設備の機能不全等のリスクが発生する可能性が高い工事		

※ 計画的な支出抑制・繰り延べの費目別内訳（実績）は、修繕費 64億円、その他費用 18億円

## 2. 経営効率化（支出抑制、繰り延べ事例①）

【効率化（繰り延べ）の事例】～ 苫東厚真発電所2号機 煙道本格修繕工事の繰り延べ

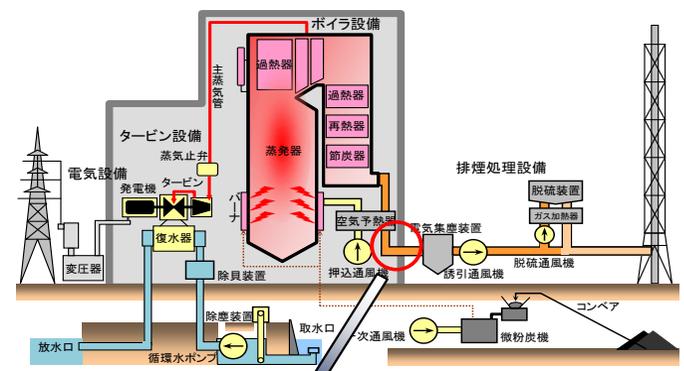
- ・ 苫東厚真発電所2号機（昭和60年運転開始）の煙道※<sup>1</sup>は、長期間の使用により外側を覆っている部材から雨水が浸入し、腐食が著しく穴あきが発生している状況です。  
※<sup>1</sup> 煙道…ボイラー燃焼後の排ガスを煙突に導くダクト
- ・ 穴あきへの応急処置として、当て板による補修を行ってきましたが、特にボイラーから電気集塵装置※<sup>2</sup>に至る煙道については、補修部が広範囲にわたり多数存在しており、本格的な修繕が必要となりました（下図A部）  
※<sup>2</sup> 電気集塵装置…排ガスから静電気により灰を取り除く装置
- ・ このため、2系統ある煙道のうち、1系統（A系統）については平成23年度に修繕を実施し、残る1系統（B系統）についても平成26年度に修繕を計画していました。



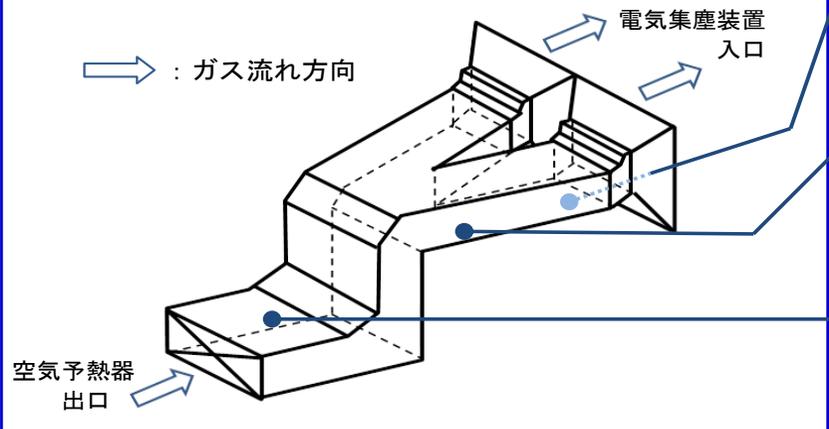
## 2. 経営効率化（支出抑制、繰り延べ事例① - つづき）

【効率化（繰り延べ）の事例】～ 苫東厚真発電所2号機 煙道本格修繕工事の繰り延べ

- 煙道の腐食進行により穴あき等が広範囲に拡大した場合には、長期間の発電出力抑制や発電停止に至る可能性があります。平成26年度については、日常点検やパトロールなどで状態を確認し、不具合が発見された場合には必要最低限の応急処置（部分補修）で対応することとし、予算策定段階において修繕工事を繰り延べる計画としたうえで、平成28年度以降に繰り延べました。



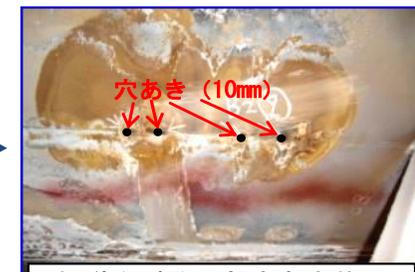
煙道（A系統）の外観図



煙道（底板）外部腐食状況



煙道（側板）外部腐食状況



煙道（天板）内部穴あき状況

※ 左写真はA系統の修繕工事実施前のものです。現在のB系統の内外腐食・穴あき状況は同様の状況となっています。

## 2. 経営効率化（支出抑制、繰り延べ事例②）

### 【効率化（繰り延べ）の事例】～ 柱上変圧器取替工事の繰り延べ

- ・柱上変圧器等の配電設備は、定期的に巡視・点検を実施しており、設備の劣化状況を劣化判定基準により管理しております。
- ・これまでも予算策定段階において、劣化判定基準に基づき修繕工事の是非を判断してきましたが、平成25年度以降、劣化箇所の監視を強化するなど供給信頼度の維持を前提にさらなる繰り延べを計画し、実施しております。

劣化進展	劣化基準と対応期限	変圧器上部の状態	変圧器充電部の状態
大	錆の発生が進行しており、浮き錆、剥離に進展している  発見から1ヶ月以内に実施		
中	錆が発生しており、一部浮き錆に進展している  従来は1年以内に実施  <u>設備状況を勘案し、一部繰り延べ</u>		